

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	東洋建築史小委員会		主 査 名：重枝 豊 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会		委員長名：伊藤 毅 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東洋建築史学の方法論の研究 ・ 東洋建築史学の教育・研究および専門家育成に関する継続的な情報収集 ・ 東洋諸国における建築的遺産の保存と修復に関する調査研究とそれらの情報収集（基礎的な資料のデータベース化）および国際協力への寄与 ・ 研究成果の公表（シンポジウムおよび公開研究会の開催と記録の刊行等）など 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	上野邦一 (奈良女子大学)、大田省一 (京都工繊大学)、岡田保良 (国士舘大学)、小野邦彦 (サイバー大学)、片桐正夫 (日本大学)、黒津高行 (日本工業大学)、重枝 豊 (日本大学)、中西 章 (東京工業大学附属科学技術高等学校)、西本真一 (サイバー大学)、野々垣篤 (愛知工業大学)、深見奈緒子 (早稲田大学)、福田美穂 (京都大学)、山根 周 (滋賀県立大学)、山田幸正 (首都大学東京)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2011 年度予算	210,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/rekishi/s2/index.htm	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. PD「アジアの建築風土と日本の貢献～アジアを学ぶ・アジアから学ぶ」 資料：同上 参加者数 48 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 若手研究者のための情報発信および情報交換の場として役割を果たした。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 8 回若手研究者による公開研究会 出席者 14 名 下田一太氏「古代クメール都市イーシャナプラの研究」 ・ 第 9 回若手研究者による公開研究会 出席者 18 名 岡村知明氏「西南アジアにおける印僑の建築様式の伝播・普及に関する調査研究」 ・ 第 10 回若手研究者による公開研究会 白佐立氏「台北の近代都市史研究」(仮題) 2. 西アジア・東南アジアを中心に、近年の研究動向や研究状況等が収集できた。 3. 将来のシンポジウムや研究集会等の企画につながる課題等が抽出できた。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一部重要な地域で専門研究者が手薄な状況にある。 2. 予算執行に困難がある (地方の若手研究者への旅費/謝金の支払いができないなど)。